

グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)



**足元の市場の混乱とアーク社の見方
～混乱時にこそ、イノベーションは普及～**

新型コロナウイルス感染拡大による世界経済への影響が懸念される中、当ファンドの基準価額も、市場全体の大きな流れに押され、下落傾向にあります。一方で、感染拡大に伴ない、商品・サービスへの需要増加が期待される企業もみられます。

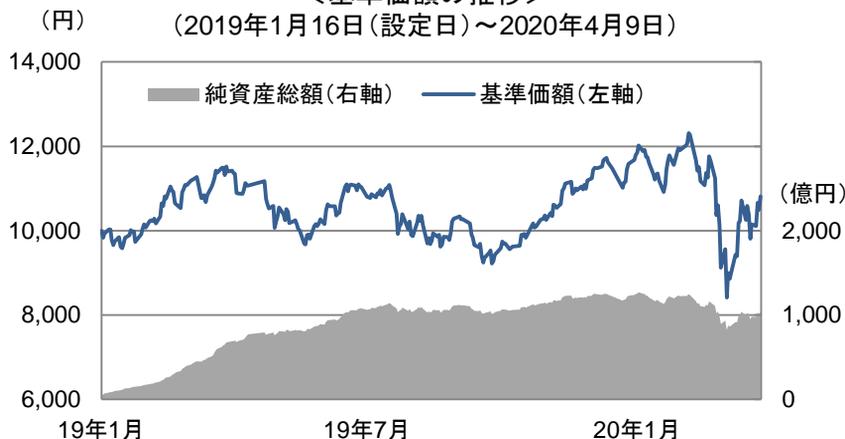
本資料では、足元の当ファンドのパフォーマンスの状況を振り返るとともに、新型コロナウイルスによる影響や今後の見通しなどについて、当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なうアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)の見解をもとに、ご紹介します。

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 本資料の内容 | ➤ 足元の投資環境と当ファンドのパフォーマンス …… P2 |
| | ➤ アーク社からのメッセージ …… P3 |
| | ➤ 新型ウイルス感染拡大に伴なう混乱をチャンスと捉える企業 …… P4 |

当ファンドの運用状況

＜基準価額の推移＞

(2019年1月16日(設定日)～2020年4月9日)



**基準価額
10,810円**
**純資産総額
1,043億円**
2020年4月9日現在

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元の投資環境と当ファンドのパフォーマンス

2月20日以降、世界の株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大や米国経済の鈍化を示す指標などにより、投資家心理が冷え込んだことを受けて、大きく値下がりました。さらに、3月以降、主要産油国による追加減産に関する協議の決裂に伴う原油価格の急落などが嫌気され、世界的に株式市場や通貨(対円)が大きく下落しました。

3月下旬以降は、米国を中心とする世界各国で、大型の財政・金融政策が発表されたことなどを受け、世界の株式市場は上昇に転じたものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済的な打撃に対する市場の懸念を払しょくするには至っていません。

このような中、当ファンドの投資対象であるゲノム関連企業の株式も、市場全体の大きな流れに押され、3月中旬にかけて下落したものの、**バイオ医薬品大手リジェネロン・ファーマシューティカルズが、新型コロナウイルス向け新薬のヒトによる臨床試験の開始を予定していることを発表したことなどを追い風に、大きく反発しました。**こうしたことを受け、2月20日(最高値)から3月31日までの当ファンドの基準価額の騰落率は▲14%と大きく下落したものの、**世界株式の下落と比較して、底堅いパフォーマンス**となりました。

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

＜当ファンドと世界株式の推移(円ベース)＞

(2019年1月16日(設定日)～2020年3月31日) 2/20



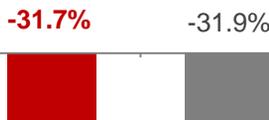
※グラフ起点を100として指数化

騰落率比較

(2020年2月20日～3月31日)



(2020年2月20日～3月17日)



新型コロナウイルス感染拡大や原油価格の急落が嫌気され、下落

(2020年3月17日～3月31日)



新型コロナウイルス向け新薬の臨床試験開始発表などをを受け、反発

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。
 ※世界株式: MSCI AC ワールド指数(トータルリターン、円ベース)の値です。
 ※上記指数は当ファンドの算出方法に準じ、前営業日の指数値に当該営業日の為替レートに乗じて、日興アセットマネジメントが円換算しています。
 ※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。信頼できると判断したデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

アーク社からのメッセージ

激動の時代にこそイノベーションが普及



Catherine D. Wood

創業者、CEO / CIO (最高投資責任者)

私は40年以上にわたる金融機関での業務の中で、景気後退を含む10以上の経済危機を経験しましたが、その都度、急速な人々の行動変化を見てきました。

例えば2008年から2009年にかけてのリーマン・ショックを含む世界金融危機では、企業におけるソフトウェアの利用形態の主体が、それまでの製品購入から従量制サービスに変化しました。この結果、テクノロジー・コストと店舗売上が大幅に減少し、クラウドベースでの顧客管理や営業支援システムを手掛けるセールスフォース・ドットコムや、通信販売事業者のアマゾンが大きく収益を伸ばす契機となりました。**イノベーションは激動の時代にこそ普及する**のです。

先行き不透明感が非常に強い環境下では、企業や消費者はこれまでの行動スタイルを変え、破壊的なイノベーションを受け入れることに

新型コロナウイルスをきっかけとする、現在の非常に不確実な環境下では、過去にあったように、消費者や企業はその行動スタイルを変え、破壊的なイノベーションを受け入れることになるだろう、とアーク社は考えています。



※写真はイメージです

新型コロナウイルスの感染拡大により、私達は現在進行中のゲノム革命について、理解をより深めることでしょう。2003年のSARS (重症急性呼吸器症候群) 流行時にはゲノム解析に5か月を要しましたが、**解析技術の向上により、科学者は今回のコロナウイルスの遺伝子配列をわずか数日で解析することに成功**しました。また、各国で拡大する移動制限などにより、遠隔医療に対するニーズが増加すると考えられます。この先、ゲノム解析技術は突然変異の監視だけでなく、世界の医療システムを支えると考えています。

このように、企業や消費者の行動スタイルの変化が、新たなイノベーションの普及につながり、ひいては、ゲノム関連企業に大きな成長機会をもたらすことになるかと期待しています。これからも、**短期的な値動きに一喜一憂せず、少し先を見据えた中長期の投資対象**として、ゲノムというイノベーションをとらえていただければ幸いです。

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

上記は、「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」のマザーファンドに助言を行なっているアーク社のコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う混乱をチャンスと捉える企業①



※写真はイメージです



米国

テラドック・ヘルス

世界各地で遠隔医療サービスを提供



企業概要



- ✓ インターネットやモバイル端末などを通じて、認定専門医に24時間いつでもアクセスでき、診断、療法助言、および投薬の処方などのサービスを提供する大手医療サービス会社です。



足元の状況と今後の見通し



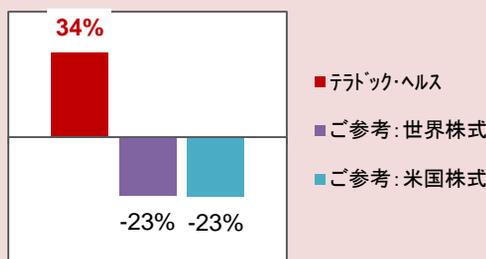
- ✓ 同社は以前より、遠隔医療サービスを推進してきましたが、今回の**新型コロナウイルスに伴う外出制限を受け、同社のサービスが改めて注目**されています。
- ✓ 米国では、新型コロナウイルス感染拡大を受け、**メディケア(高齢者および障害者向け公的医療保険制度)の保証範囲を、医師や看護師など医療従事者による遠隔医療サービスまで拡大**しています。こうした措置は、同サービス最大手である同社の業績の追い風になると考えられます。
- ✓ 今回の混乱を機に遠隔医療サービスを利用した患者は、その利便性から、新型コロナウイルス終息後も同サービスを利用し続けるとみられ、**同社のサービスの利用者は今後も拡大していく**と考えています。

＜株価の推移＞

(米ドル) (2017年1月初～2020年3月末)



＜株価と指数の騰落率(米ドルベース)＞
(2020年2月20日～2020年3月末)



※当ファンドの運用期間は2019年1月16日以降です。なお、当該期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。

※当ページは、2020年2月末時点のポートフォリオ組入上位銘柄について、アーク社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。

※世界株式: MSCI AC ワールド指数(米ドルベース)、米国株式: S&P500種株価指数

※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う混乱をチャンスと捉える企業②



※写真はイメージです

リジェネロン・
ファーマシューティカルズ



米国

世界最大級の遺伝子研究施設を保有する
大手バイオ医薬品メーカー



企業概要



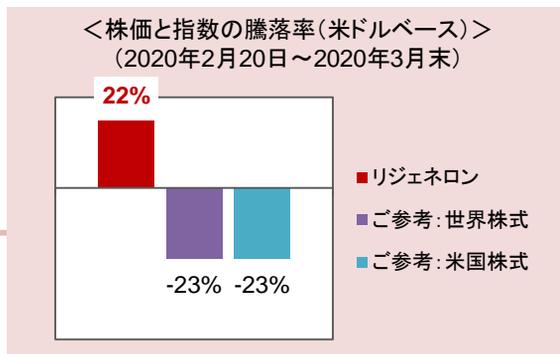
- ✓ 重症患者向け治療薬の研究・開発を手掛ける、大手バイオ医薬品メーカーです。
- ✓ 同社は、世界最大級の遺伝子研究施設を保有し、ゲノムやAI(人工知能)などの技術を用いることで、迅速な創薬を目指しています。



足元の状況 と 今後の見通し



- ✓ 同社は、仏大手製薬会社サノフィと共同で、同社のリウマチ性関節炎向け医薬品を**新型コロナウイルス患者に投与するための臨床試験開始を発表**しました。これにより、同社の株価は、足元で大きく上昇しています。
- ✓ 多様な分野の疾患に対する医薬品の開発が進む同社では、こうした**既存薬を他の疾患向けの治療薬として利用する試みが進んでおり**、今後もこうした事例が報告されると期待されます。



※当ファンドの運用期間は2019年1月16日以降です。なお、当該期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
 ※当ページは、2020年2月末時点のポートフォリオ組入上位銘柄について、アーク社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
 ※世界株式: MSCI AC ワールド指数(米ドルベース)、米国株式: S&P500種株価指数
 ※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。信頼できると判断したデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う混乱をチャンスと捉える企業③



※写真はイメージです



米国

イルミナ

ゲノム解析装置の世界最大手メーカー



企業概要



- ✓ ゲノム解析装置の包括的なシステム・機器の開発、製造、販売を行なっています。



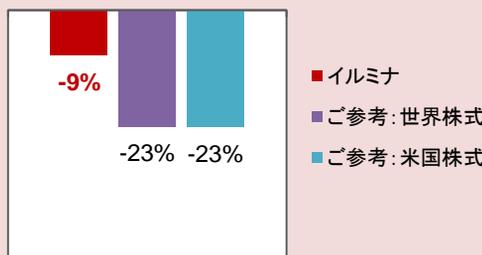
足元の状況と今後の見通し



- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う混乱から、2月下旬以降、世界的に株式市場が下落する中、同社の株価も下落しました。ただし、3月中旬以降、ゲノム関連銘柄の株価が上昇する中、同社の株価も回復傾向にあります。
- ✓ 今回の新型コロナウイルスに伴う混乱により、**ゲノム解析技術の重要性が再認識されています**。ゲノム解析は、ウイルスの特定に用いられるほか、ウイルスの遺伝子配列の解析により、ウイルスの感染経路の追跡やワクチンの開発、感染拡大の抑制などに大きく貢献します。
- ✓ 同社は**ゲノム解析装置において高い技術力と幅広い商品群を持つ**ことから、今回の新型コロナウイルスに伴う混乱において、同社の重要性は高く、同社製品の採用拡大につながる可能性があると考えています。



＜株価と指数の騰落率(米ドルベース)＞
(2020年2月20日～2020年3月末)



※当ファンドの運用期間は2019年1月16日以降です。なお、当該期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。

※当ページは、2020年2月末時点のポートフォリオ組入上位銘柄について、アーク社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。

※世界株式: MSCI AC ワールド指数(米ドルベース)、米国株式: S&P500種株価指数

※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

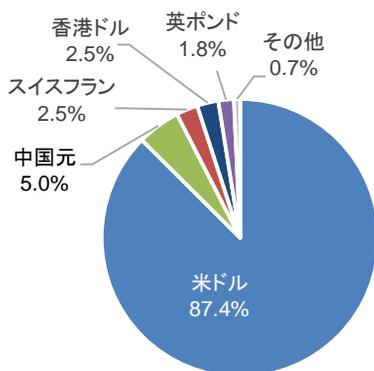
信頼できると判断したデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

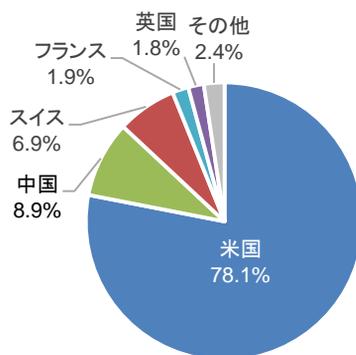
※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ポートフォリオの状況(2020年2月末時点)

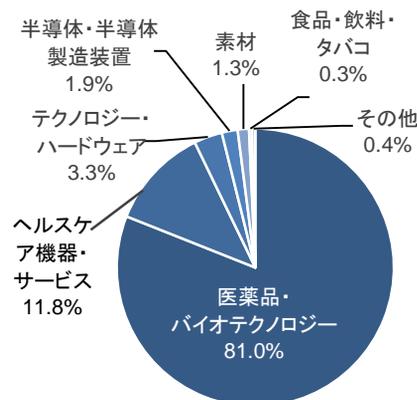
【通貨別比率】



【国・地域別比率】



【業種別比率】



※ 四捨五入などの関係で合計が100%とならない場合があります。

【組入上位10銘柄】

(銘柄数:54銘柄)

| | 銘柄名 | 通貨 | 国・地域名 | 業種 | 組入比率 |
|----|---------------------|-----|-------|---------------|------|
| 1 | イルミナ | 米ドル | 米国 | 医薬品・バイオテクノロジー | 7.1% |
| 2 | テラドック・ヘルス | 米ドル | 米国 | ヘルスケア機器・サービス | 6.3% |
| 3 | リジェネロン・ファーマシューティカルズ | 米ドル | 米国 | 医薬品・バイオテクノロジー | 5.0% |
| 4 | インビテ | 米ドル | 米国 | 医薬品・バイオテクノロジー | 4.9% |
| 5 | CRISPRセラピューティクス | 米ドル | スイス | 医薬品・バイオテクノロジー | 4.4% |
| 6 | アイオバンス・バイオセラピューティクス | 米ドル | 米国 | 医薬品・バイオテクノロジー | 4.0% |
| 7 | エディタス・メディシン | 米ドル | 米国 | 医薬品・バイオテクノロジー | 3.2% |
| 8 | ブリストル・マイヤーズスクイブ | 米ドル | 米国 | 医薬品・バイオテクノロジー | 2.7% |
| 9 | ガーダント・ヘルス | 米ドル | 米国 | ヘルスケア機器・サービス | 2.7% |
| 10 | ナノistring・テクノロジーズ | 米ドル | 米国 | 医薬品・バイオテクノロジー | 2.6% |

※ 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※ 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1 主に、世界の株式の中から、ゲノム関連ビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式*に投資を行ないます。
* 預託証券を含みます。
- 2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。
- 3 年1回、決算を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込み に際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

| | |
|----------------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 購入単位 | 販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 信託期間 | 2028年12月7日まで(2019年1月16日設定) |
| 決算日 | 毎年12月7日(休業日の場合は翌営業日) |
| 購入・換金 申込不可日 | 販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日または ニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。 |

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

| | |
|---------|---|
| 購入時手数料 | 購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

| | |
|------------------|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率1.804%(税抜1.64%)</u> |
| その他の 費用・手数料 | 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。 |

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

| | |
|--------|--|
| 委託会社 | 日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 |
| 投資顧問会社 | 日興アセットマネジメント アメリカズ・インク |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| 販売会社 | 販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。) |

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------|--------------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 大和証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

(資料作成日現在、50音順)